

令和7年2月26日

富田林市立第二中学校
校長 森本 崇寛

令和6年度学校教育アンケートの結果について

解氷の候、保護者の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。平素より本校教育推進にご支援ご協力を賜りお礼申し上げます。併せて、学校教育アンケートのご協力いただきましたこともお礼申し上げます。さて、アンケート結果を分析させていただき、その概要と今後の課題についてお知らせいたします。

～分析と考察～

今後も継続していく点

【生徒アンケート】より

昨年度に引き続き、ほぼすべての項目で肯定的割合が90%前後の高水準です。これは、学校の様々な教育活動に対して、多くの子どもたちが前向きに取り組んでいる結果と捉えております。また、教職員と子どもたちとの関係性も一定良好であると判断いたしました。

特に、【質問5,6,7】より、子どもたち一人ひとりの困り感やつまずきに寄り添う姿勢が子どもたちに伝わっていることが大変うれしく感じております。

【保護者アンケート】より

【質問16 学校は、いじめのない学級づくりやいじめに対して適切な指導・対応を行っている】の肯定的割合が昨年度より11ポイント上昇しました。今後さらにポイントがあがるよう、引き続き丁寧な対応を心掛けてまいります。また、【質問1 子どもは、楽しく学校に通っている】のポイントが上昇しています。行事や生徒会活動、人権教育に対しても肯定的割合が高くなっています。今後も、一人ひとりが生き生きと学習ができる学校をめざして教育活動を実施していきます。

改善していく点

【生徒アンケート】より

【質問8 宿題は、適切な内容や量になっている】の肯定的割合が昨年よりさらに低下しております。また、【質問4 授業でわからないことを先生に質問しやすい】も他の項目と比較すると肯定的割合が低いです。

昨年度お伝えした宿題の見える化と宿題の総量の平準化を継続しつつ、今年度は百問繚乱の活用とテスト分析に力を入れ、苦手早期発見がしやすいようにしました。また、テスト前の勉強会などで質問できるようにしています。しかしながら、子どもたちには保護者の皆さまにも周知をし切れていない部分も感じました。今後もより子どもたちの困り感に寄り添えるよう、努めてまいります。

【保護者アンケート】より

【質問3】【質問4】の肯定的割合の低下について上記に記したとおりです。反省して次に生かします。

【質問15 子どもは、自分の悩みを学校に相談しやすいと言っている】が生徒アンケートと比較しても、また昨年度と比べても、肯定的割合が大幅に低下しております。子どもたちの学校での様子を断片的にしかお伝えができていないのかなと感じました。日常の小さなかわりをより大切に、小さい不安やちょっとした困り感により気づけるよう、職員全体の意識を上げていきたいと思っております。また、家庭と学校とで、小さなうちに情報共有ができるよう、日々心掛けてまいります。